

行政の窓

平成23年度 北海道木材需給見通しについて

平成23年度北海道木材需給見通しを取りまとめたのでお知らせします。

● 需要 ●

22年度の需要量は、景気の回復により全般的に増加すると予想され、21年度実績に対し7.1%増の679万³となる見込みです。

また、23年度は製材用やパルプ用の増加により、22年度見込みに対し3.0%増の700万³となる見通しです。なお、北海道の木材総需要量はパルプ用の割合は53.2%と全国に比べ高くなっています。

(全国木材需給 パルプ用割合45.9%：林野庁「平成21年木材需給表(用材部門)」)

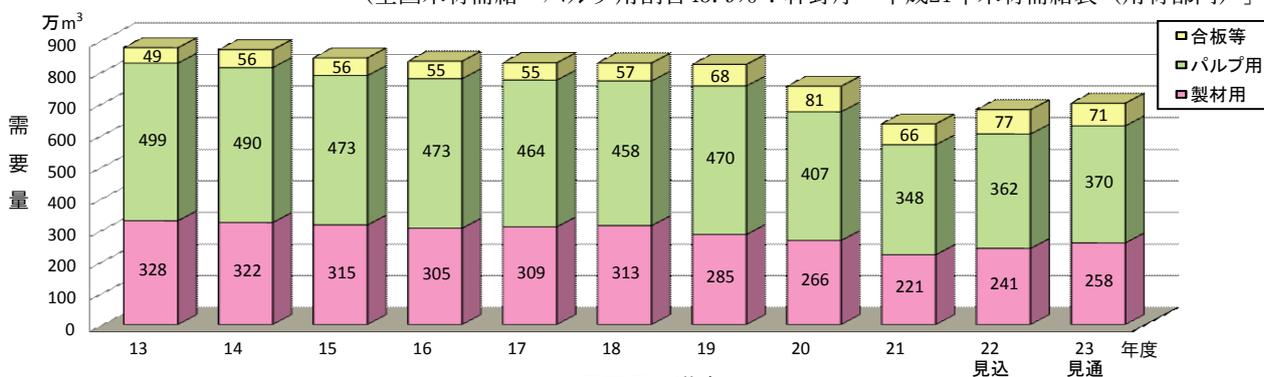


図1 需要量の動向

● 供給 ●

22年度の供給量は、道産材を中心に全般的に回復したことにより、21年度実績より7.1%増の679万³となる見込みです。

また、23年度は紙需要の回復による木質原料の増加もあり、供給量は前年度より3.0%増の700万³の見通しです。

なお、道産材供給率は、22年度は製材用需要の増加により58.0%となる見込みですが、23年度は輸入チップの増加に伴い道産材の供給割合が減少するため、22年度見込みに対し2.4%減の55.6%となる見通しです。

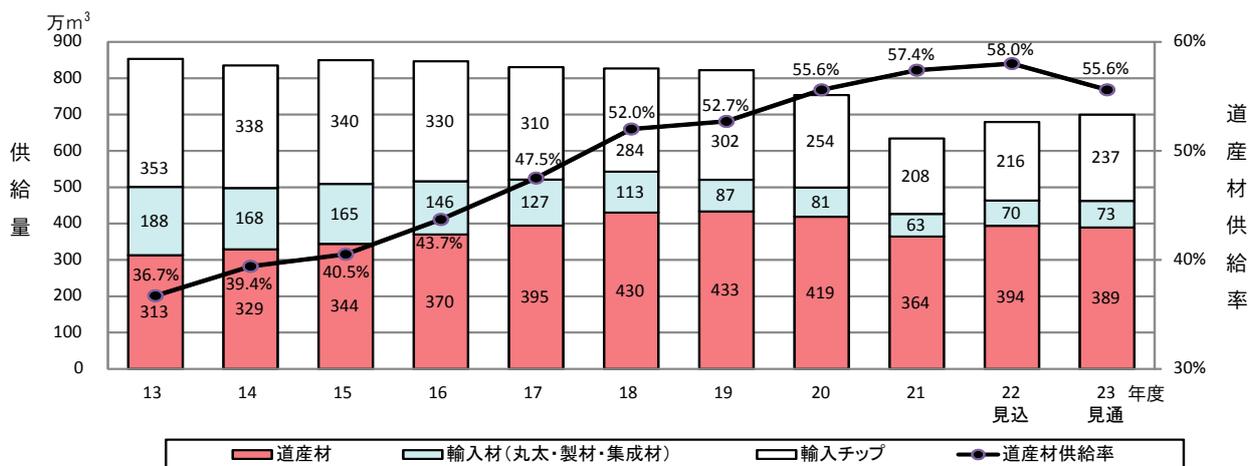


図2 供給量の動向

※数値は原木消費量または原木換算値

(水産林務部 林務局 林業木材課 木材産業グループ)